

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成26年3月17日～26日に陸奥湾5定点で第12回付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ラーバの出現数

各地の出現数は表1、出現数の推移は図1～4のとおりです。

ユウレイボヤ、ネンエキボヤのラーバは5定点とも見られませんでした。オベリア類(通称:クサ)のクラゲは、奥内沖で0.7個/トン、小湊沖で25.0個/トンでした。キヌマトイガイ(通称:コメガキ)のラーバは蟹田沖で68.1個/トン、奥内沖で22.1個/トン、久栗坂沖で6.1個/トン、小湊沖で68.8個/トン、川内沖で629.7個/トンでした。

表1 付着生物のラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
蟹田沖	H26.3.18	0.0	0.0	0.0	0.0	68.1
奥内沖	H26.3.26	0.0	0.0	0.0	0.7	22.1
久栗坂沖	H26.3.19	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1
小湊沖	H26.3.17	0.0	0.0	0.0	25.0	68.8
川内沖	H26.3.19	0.0	0.0	0.0	0.0	629.7

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 水温の状況

各ブイの3月29日の平均水温は、表2のとおりです。

表2 各ブイの中層における日平均水温(3/29)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	6.1	東田沢ブイ	3.5	横浜ブイ	-
蓬田ブイ	4.4	清水川ブイ	3.5	浜奥内ブイ	3.9
奥内ブイ	4.1	野辺地ブイ	-	川内ブイ	-
青森ブイ	4.2	東湾ブイ	3.7	脇野沢ブイ	3.2
浦田ブイ	-				

※奥内、浦田、野辺地、浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバは見られないため新たに付着する個体はないものと考えられます。

ネンエキボヤのラーバは見られませんが、他のホヤ類と違い、①親ボヤの中で完全なラーバに育ってから海中に出ること、②付着するまでの遊泳期間が短く、海中では見つけにくいことから、次年度は親ボヤの中のラーバの成育状況の調査などを検討していきます。

オベリア類(クサ)のクラゲは、野辺地沖と小湊沖で増加していることから、今後、新たな付着に注意していく必要があります。

キヌマトイガイ(コメガキ)のラーバは、西湾よりも東湾、特に川内沖で増加しており、他の地点でも今後増加する可能性がありますので、4月からは「ホタテガイ採苗速報」で情報提供していきます。

平成25年度の付着生物ラーバ情報は今回で終了します。次年度も秋から調査を行って、情報を発行する予定ですので、分散作業や出荷計画の参考にしてください。

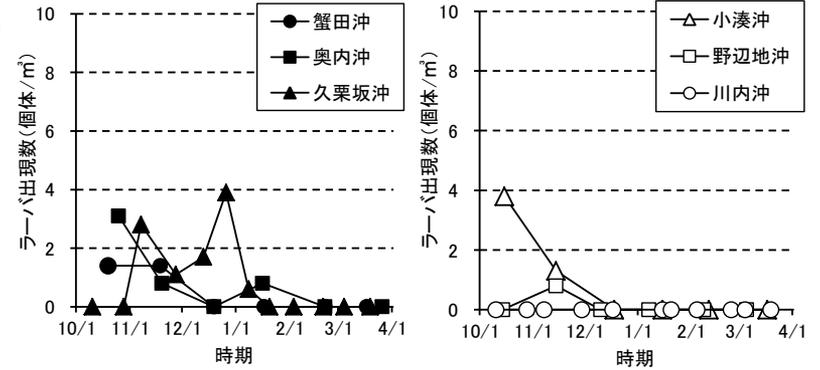


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

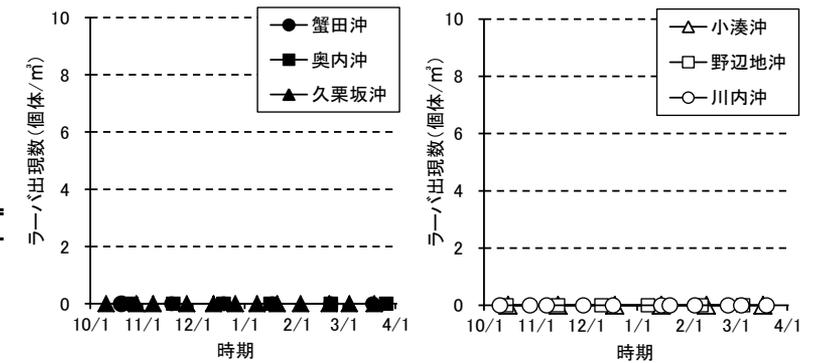


図2 ネンエキボヤラーバ出現数の推移

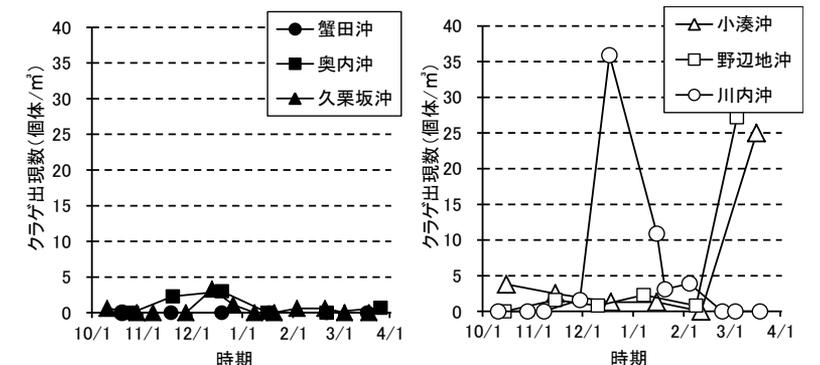


図3 オベリア類クラゲ出現数の推移

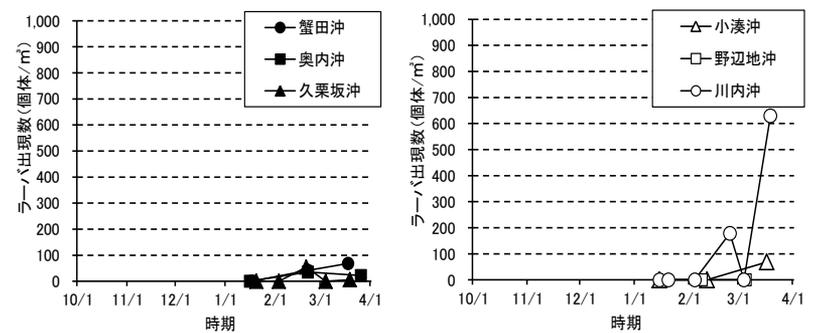


図4 キヌマトイガイラーバ出現数の推移



オベリア類のクラゲ

(上:ユウレイボヤ 下:ネンエキボヤ)

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

①ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード

②陸奥湾観測データ総合管理システム 携帯電話用QRコード

